

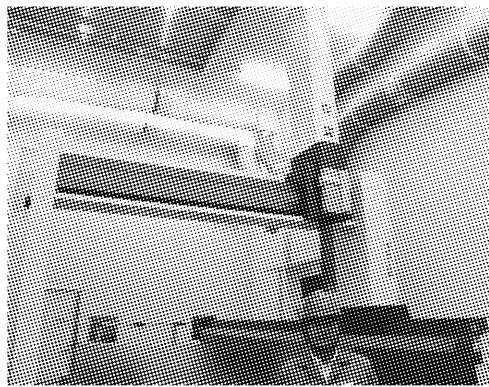
# 大型ワークに対応

## 3次元座標測定機導入

藤田製作所

【千葉】藤田製作所（千葉県茂原市、藤田泰彦社長、0475・34・3311）は、社内内の恒温恒湿工場にドイツ製の3次元座標測定機を導入した。

測定機の導入は4台目で、測定範囲は今回の導入機が最も広い。大型化が進み、生産の高速化と高精度化が要求される半導体・液晶製造装置用部品などを測定する。導入したのはカール・ツァイス製「ACCUR



A II写真」。測定範囲は縦2000ミ×横4200ミ×高さ1500ミ

せる台は社内で製作して平面度の高い台に仕上げ、ACCUR A IIの精

は、最大荷重は7トで、藤田製作所が保有する測定機の中で最大。従来、基準ゲージの積み重ねでしか測れなかった大型の測定対象物（ワーク）に対応する。

ワークを載

度は「1ミにつき誤差2ミ以内」（深川真史工場長）を実現した。ワークの材質が持つ膨張係数を考慮した設定も可能。

工場内に「温調クリーンブース」を設けた。ブース内の温度は23度Cで設定されており、温度の誤差はわずか0・5度C以内。